

第 12 回北信越錬成大会(全日本弓道選手権大会) 石川県代表選手選考会結果

日時：令和 5 年 5 月 27 日（土） 9：00～13：00

会場：石川県立武道館弓道場

審判団：水橋会長、川瀬副会長、木下(外)副会長兼理事長、木下(鋼)副会長、宮本副会長兼事務局長

参加者：男性 14 名 女性 13 名 計 27 名

7 月 23 日（日）に小松市で開催される第 12 回北信越錬成大会の代表選手、男子 5 名、女子 5 名が以下の通りに決定しました。北信越錬成大会（北信越ブロック予選会）において、第 74 回全日本男子弓道選手権大会・第 56 回全日本女子弓道選手権大会の北信越ブロック代表男女 5 名が決定します。

男子

咲川 雅敏 錬士六段（金沢市）
勝二 秀典 錬士六段（宝達志水町）
曾山 良和 教士六段（中能登町）
中條 大輔 教士七段（羽咋市）
友安 正人 教士七段（金沢市）

女子

越能 公子 教士六段（金沢市）
坂本 祐子 教士七段（金沢市）
島 満栄 錬士六段（野々市市）
山口 千春 錬士六段（中能登町）
山本真理子 教士七段（能美市）

※五十音順

今年の県予選会参加者は、男子が昨年比 + 5 名の 14 名、女子が昨年比 + 6 名の 13 名、計 27 名の参加がありました。

当日は、弓具検査、開会式と進み、その後すぐに男子から予選が始まりました。男子 3 立、女子 3 立で各自審査の間合いで一手 2 回行います。予選は約 2 時間半で終了し、まず男女 2 名の代表が決まり、引き続き決勝を行い、的中上位 3 名が選手となりました。



牧野副理事長より代表選手の発表後、水橋会長より講評をいただき閉会となりました。

－講評－

予選の得点で選ばれた二人もダントツというわけでもなく、決勝に進まれた皆さんも、誰が代表に選ばれてもおかしくない差であり、体格的に大きな差があったわけでもなかった。全弓連からは、ここ数年で審査会や大会での的中率が悪いと言われているが、中りはもちろんであるが、配慮がない中りは見ても寂しくなる。弓道は基本を守ってできて、ある程度のレベルまで行ってから中りがついてくるものであると思う。予選での的中中を見ると男子が 44.6%、女子が 46.2%と 5 割にも満たない。甲矢と乙矢の的中率でみると、男子では甲矢が 60.7%の的中率があるが、乙矢は 28.6%と急激に落ち込んでいる。女子は甲矢が 42%、乙矢が 50%でしたが、どちらにしても中りが今一つ足りていなかった。稽古の最初の一本目をがむしゃらに中てる稽古をして欲しい。その中り外れの原因を探して欲しい。弓具点検では握り皮が汚れ過ぎている人もいました。全日本選手権を目指すような方達であるわけですから、弓具にも気を配って手入れをしていただきたい。そして、何度も繰り返すが、会を頑張りたい、会と仲良くしたい。引分けて口割まで来ました、三重十文字が収まり、結果的に五重十文字が収まって、今から会に収まりましたというところから、2～3秒の方が多。選手権に出ようかと、それなりの射を見せたいというのであれば、しっかりと五重十文字が完成した状態でゆっくりと4～5秒以上は頑張りたい。そこまでいっている方はほんの数名だったと思います。会が長ければいいというわけではないが、あまりにも早気に近いというのは今一つかなと拝見していました。石川県の選手は会で頑張っているところを北信越でも中央でも見せて欲しい。そして決勝では中てて欲しい。この両方を求めてください。

代表選手



第 12 回北信越錬成大会 令和 5 年 7 月 23 日 (日) 開催地：小松市